

CEFRとは？

CEFR とは、「外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment）」のことです。

外国語の運用能力を、言語の枠や国境を越えて同一の基準で測ることができる国際的な指標です。欧州評議会（Council of Europe）により、20 年以上にわたる研究と実証実験の末に開発され、2001 年に公開されました。現在では 38 言語で参照枠が提供され、語学教育の現場で活用されています。言語資格を承認する根拠にもなるため、国境や言語の枠を越えた教育・就労の推進にも役立っています。

日本では、日本語版が 2004 年に発表されて以来、英語教育の指標として高校や大学で使われるようになりました。国内最大級の英語検定試験である英検（実用英語技能検定）も、CEFR に対応したスコア表示（英検 CSE スコア）を 2014 年に試験的に導入、2 年後に本格運用を開始しました。

2020 年度には、民間の英語資格・検定試験の結果を大学入試に利用する入試改革が予定されており、認定された 9 つの英語資格・検定試験の結果の比較には、CEFR が用いられます。

CEFR との英検の対照

英検は、各級の合格が CEFR の A1～C1 にほぼ対応しています。加えて、英検 CSE スコアによって、CEFR のレベルの中でもどの辺りに該当するのか、より細かく判定することができます。

CEFR	英検各級の測定範囲		英検 CSE スコア
C2			
C1	1 級		2600～3299 (1 級合格：2630)
B2		準 1 級	2300～2599 (準 1 級合格：2304)
B1	2 級		1950～2299 (2 級合格：1980)
A2		準 2 級	1700～1949 (準 2 級合格：1728)
A1			3 級

(大学入試センターの公開資料より)

目指すべきレベル

大学入試（英語外部検定利用入試*）で、英検をはじめとする民間の英語資格・検定試験を活用したいと思っている方なら、志願する大学・学部にもよりますが、準 1 級（B2）～準 2 級（A2）程度が目標となります。また将来、英語を使う職場へ就職したいと思っている方なら、英検 2 級（B1）以上を目指すとよいでしょう。